

「地熱発電の可能性と環境影響評価に関するシンポジウム」アンケート結果

日時 : 平成 24 年 8 月 30 日
16:30～17:00
場所 : N T T 夢天神ホール

1. シンポジウム参加率 85.2%

シンポジウム申込者	216 名
参加者	184 名

2. アンケート回収率 54.3%

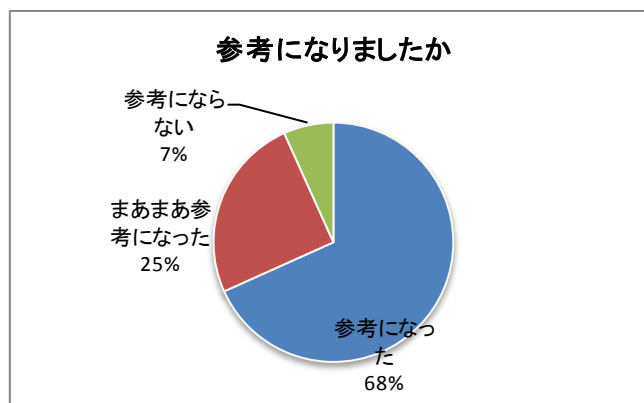
シンポジウム参加者	184 名
アンケート回収件数	100 件

3. アンケート結果（講演内容シンポジウムの内容について）

【講演1:地熱発電開発の今後のシナリオ】

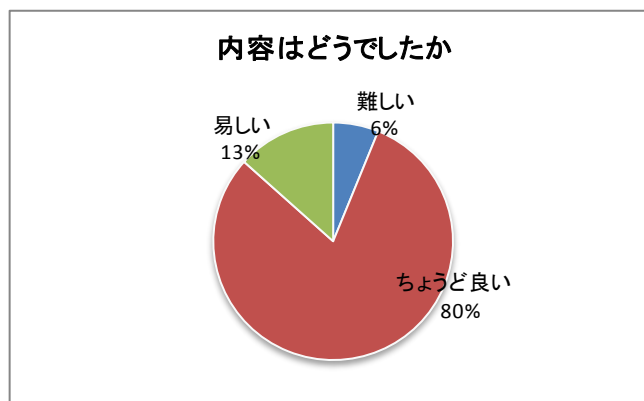
参考になりましたか

項目	件数
参考になった	71
まあまあ参考になった	26
参考にならない	7



内容はどうでしたか

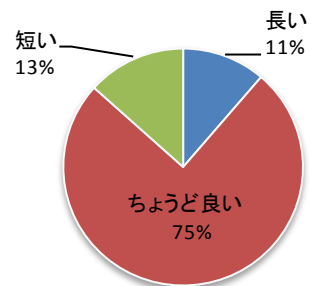
項目	件数
難しい	6
ちょうど良い	78
易しい	13



時間はどうでしたか

項目	件数
長い	11
ちょうど良い	73
短い	13

時間はどうでしたか

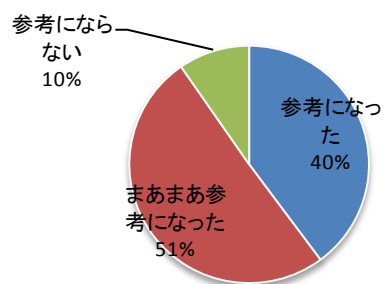


【講演2：地熱発電の設置等に関する環境影響評価】

参考になった

項目	件数
参考になった	37
まあまあ参考になった	47
参考にならない	9

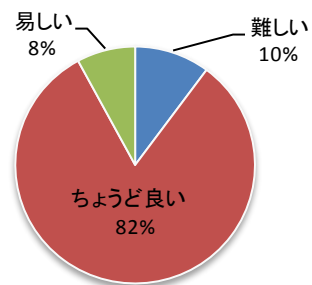
参考になりましたか



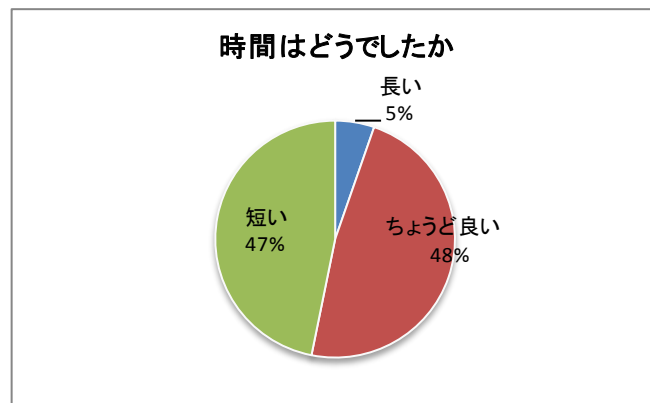
内容はどうでしたか

項目	件数
難しい	9
ちょうど良い	72
易しい	7

内容はどうでしたか

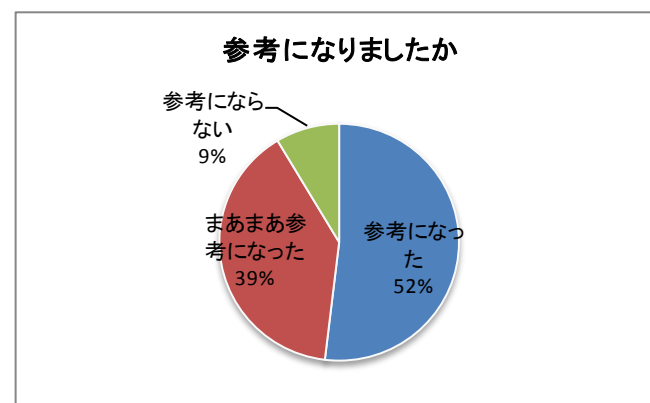


時間はどうか	
項目	件数
長い	5
ちょうど良い	45
短い	44

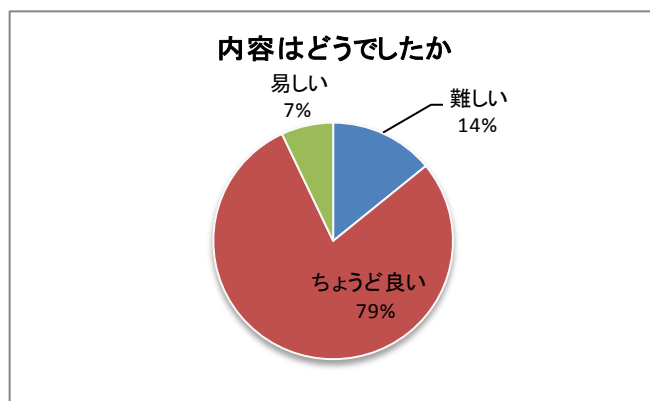


【講演3：地熱発電の地盤変動リスク】

参考になった	
項目	件数
参考になった	54
まあまあ参考になった	41
参考にならない	9



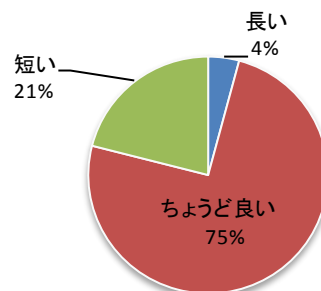
内容はどうか	
項目	件数
難しい	14
ちょうど良い	78
易しい	7



時間はどうでしたか

項目	件数
長い	4
ちょうど良い	71
短い	20

時間はどうでしたか

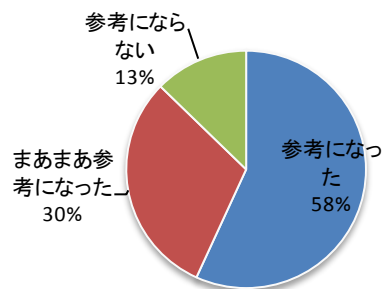


【講演4：地熱発電と温泉資源との共生について】

参考になりましたか

項目	件数
参考になった	58
まあまあ参考になった	31
参考にならない	13

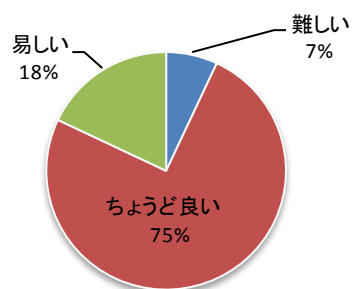
参考になりましたか



内容はどうでしたか

項目	件数
難しい	7
ちょうど良い	75
易しい	18

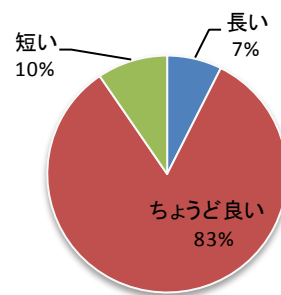
内容はどうでしたか



時間はどうでしたか

項目	件数
長い	7
ちょうど良い	78
短い	9

時間はどうでしたか

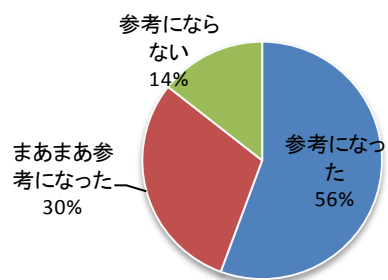


【講演5：国立・国定公園における地熱発電の考え方】

参考になりましたか

項目	件数
参考になった	54
まあまあ参考になった	29
参考にならない	14

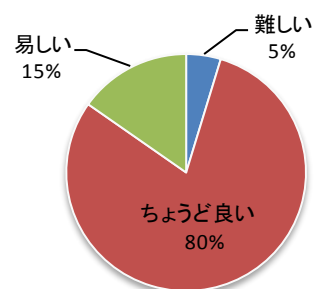
参考になりましたか



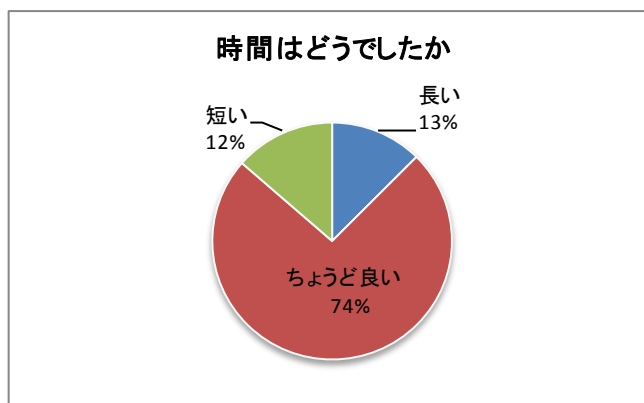
内容はどうでしたか

項目	件数
難しい	4
ちょうど良い	68
易しい	13

内容はどうでしたか



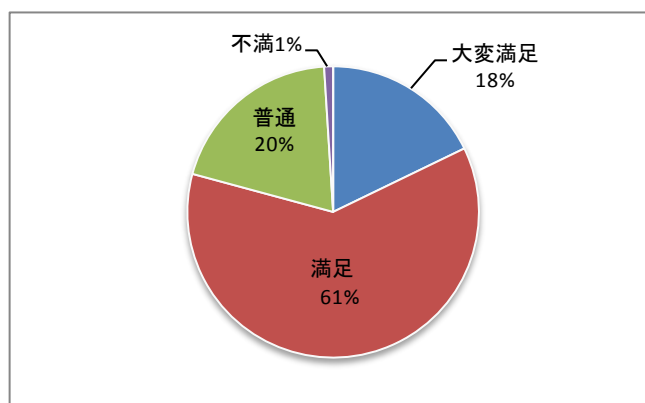
時間はどうか	
項目	件数
長い	11
ちょうど良い	65
短い	12



4. シンポジウムの全体について

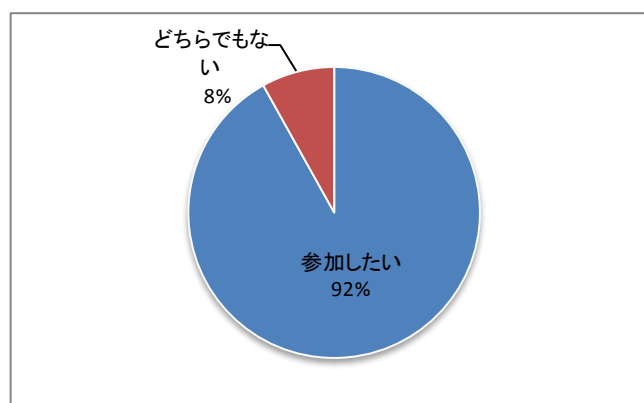
【シンポジウム全体の満足度をお教えてください】

項目	件数
大変満足	18
満足	62
普通	20
不満	1
大変不満	0



【今後も「再生可能エネルギーの環境影響評価」に関するシンポジウムが開催される場合参加したいと思いますか】

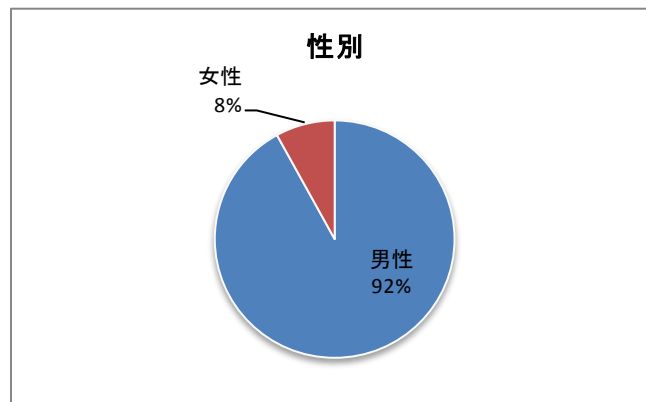
項目	件数
参加したい	91
どちらでもない	8
参加したくない	0



5. 参加者の属性について

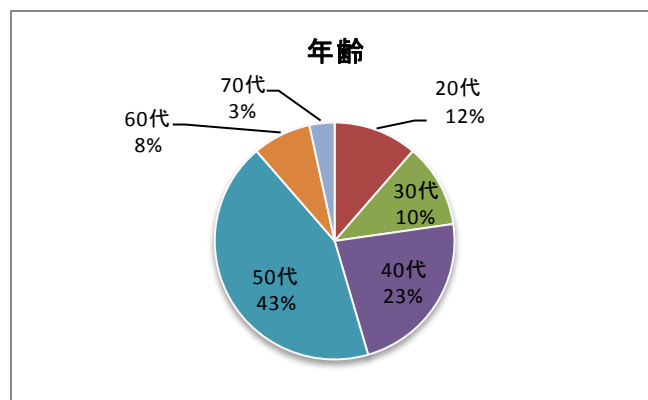
【性別】

項目	件数
男性	80
女性	7



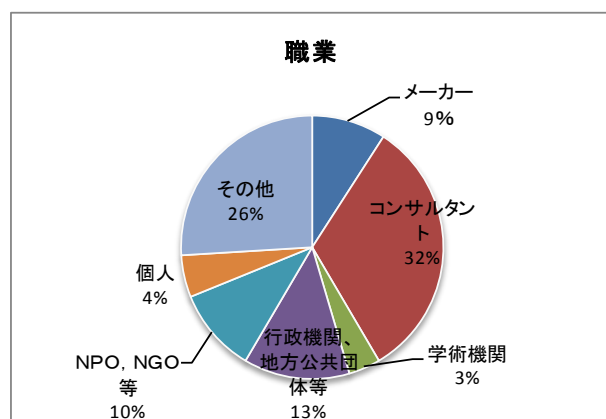
【年齢】

項目	件数
10代	0
20代	10
30代	10
40代	20
50代	38
60代	7
70代	3



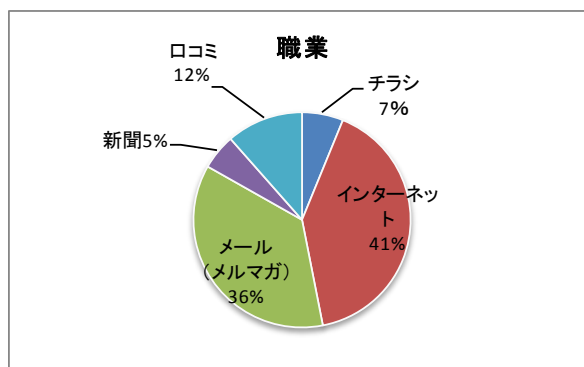
【職業】

項目	件数
メーカー	7
コンサルタント	25
学術機関	3
行政機関: 地方公共団体等	10
NPO、NGO等	8
個人	4
その他	20



【シンポジウムを知った理由】

項目	件数
チラシ	7
インターネット	46
メール(メルマガ)	41
新聞	6
口コミ	13



6. シンポジウムで最も印象に残った講演・役に立った点についてのご意見

○発電の問題点に関して

- ・ 国立公園を管理している目線で地熱発電に対する懸念がよく分かった
- ・ 地下の熱水利用が防災につながるという視点
- ・ 補充井の必要性
- ・ 温泉との対立
- ・ 温泉に関する予測の難しさ
- ・ 地熱発電に関するハードルがまとめられており参考になった

○地熱発電の環境影響に関して

- ・ 地盤変動リスクに関する講演が興味深かった

○環境影響評価に関して

- ・ 地熱開発における環境影響評価のプロセスがよく分かった
- ・ 環境アセスの期間短縮について、積極的対応で具体的な短縮に期待したい
- ・ 地熱発電プロジェクトのための環境影響評価と地域共生

○国立公園の現状に関して

- ・ 日本国土の一割が国立・国定公園で大きな面積をしめていることを知った
- ・ 国立公園の特別地域外からの地熱利用は一つの方法である
- ・ 国立公園に関する講演
- ・ 我が国の隅々まで環境行政が行き渡っていることが解りました
- ・ 実際の国立公園での発電施設の現状が良くわかった

○講演に関するご意見

- ・ 鹿野氏の机上でない講演
- ・ 地熱発電と今後のシナリオの講演が解りやすかった
- ・ 江原先生、板寺先生のデータに基づいた講演が解りやすかった
- ・ それぞれの立場から講演が聴けて良かった
- ・ 様々な見解を持つ専門家がそれぞれの立場から意見を述べていただいたのが勉強になった
- ・ 鹿野先生の毅然と自分の意見を述べた講演にインパクトがあった
- ・ 地熱発電の賛成派だけでなく、反対派もあり興味深かった
- ・ 講演1と5の両方の意見を聞けて参考になった

○その他のご意見

- ・地熱発電に反対している方の意見を聞きたい
- ・地方への権限譲渡と人材育成で地方分権のモデル事業に期待したい
- ・アイスランドの地熱発電所の事例は地域に人が住んでいない地熱地帯（ギャオ）で、日本の参考にはならないのではないか
- ・地熱エネルギー活用の有効性
- ・離島などでの活用を増やすべき
- ・ドラスティックに現状を打開する方法がないという理解が得られた
- ・地熱発電を促進か非促進か方向性があいまい

7. 環境と調和した地熱発電を普及するための課題・問題点についてのご意見

○地域との連携に関して

- ・地域の共生が重要である
- ・地域住民との関係構築、相互理解
- ・地域住民の自然エネルギーへの関心と意識改革
- ・地域性を考慮した共生型の開発プロセス
- ・安定的な蒸気量の確保と地域共生
- ・地産地消という考え方で、温泉や国立公園のエネルギーのバランスを地域ごとに対応できるのか
- ・お互いに満足のいく進め方が必要だと思います
- ・地域における最大の利益とは何か関係者全員で考える必要があると思います

○環境アセスメントに関して

- ・環境アセスメントの期間等の短縮
- ・環境アセスメントの適切な短縮と簡略化
- ・立地選定を含めた、戦略的環境アセスメントを実施
- ・モニタリングの義務化

○モニタリング、情報公開に関して

- ・モニタリングの手法の確立
- ・情報の蓄積とその情報公開
- ・地下の情報を以下に得るか
- ・既存事例のモニタリングをキチンとやるべき
- ・地熱発電の影響がよく分からないという点が多いため、解明が必要ではないでしょうか
- ・長期にわたるモニタリング

○環境影響に関する認識に関して

- ・地下状態についての地元温泉との共通認識
- ・地熱が無限にあるのか、それが解りません、温泉事業者の方はそれを心配していると思います
- ・水質、大気、防災をもっと国民に知ってもらうことが肝要
- ・確実性のある問題を明らかにするだけでなく、どのように一般市民に伝えるか。
- ・地熱発電反対の方の定量的な議論
- ・環境への影響が大きいといっても、定量的ではなく説得力がない

○国立公園に関して

- ・日本の財産である国立公園での地熱発電開発には疑問がある
- ・国立公園区分の見直し

- ・現状では、まだまだ規制は支障になっている
- ・国立公園内での回答について今の規制緩和では不十分、このような状況では地熱発電開発が増えるとは思えない

○国の施策等に関して

- ・圧倒的なデータ不足、政策の遅れ、全体のビジョンがなかった
- ・政府の補助金の多寡
- ・省庁の垣根を越えた調整をしていただきたい
- ・民間参入のための九州電力との調整のサポート
- ・国の施策、方向性に一貫性がない
- ・国はもっと事前対策をしっかりやってほしい

○地熱資源の利用に関して

- ・温泉自身の事業制限
- ・地下資源を電力にシェアするため、効率の悪い観光資源温泉をリストラする考えも必要
- ・くみ上げない熱水利用
- ・地下の熱水・蒸気利用のルールが整備（地熱利用法など）されること
- ・熱水の温泉への供給
- ・適正な規模の地熱開発

○その他のご意見

- ・早期に運転開始ができないこと
- ・発電事業の円滑な資金調達
- ・化石エネルギーからの脱皮
- ・長い歴史を持ち、大切に資源を守ってきた温泉地と再生可能エネルギー利用の共存を切に願う
- ・点での開発を面化するシステムの構築
- ・温泉法が準拠法になっていること
- ・地下のことが解らないと何もできないというのは、原発の放射能と同じ考えとなり何も進まないのではないか
- ・中立の立場で積極的に行政が関与していくこと
- ・2極論に陥らない対話が必要
- ・地熱のおいても水力のように集中化よりも分散化を考慮すべき

8. 特に取り上げてほしいテーマ

○新エネルギーに関して

- ・海洋エネルギー（潮流、波力） 7件
- ・メガソーラーによる影響 3件
- ・小水力発電の動向 3件
- ・風力アセス 3件
- ・バイオマス発電について 1件
- ・個人レベルのローカルエネルギー 1件
- ・水素エネルギー 1件

○九州の現状に関して、その他

- ・各地における温泉事業者と地熱発電事業者の協議の経緯及び進展の状況 3件
- ・アセスメントの審査について 2件
- ・SEA 1件
- ・土木工事と河川海洋への影響について 1件

- ・国内外を含めた事の照会 1 件

9. 地熱発電を普及するために環境省九州地方環境事務所が取り組むべきことに関するご意見

○環境情報の整理・地域との連携に関して

- ・企業、自治体、温泉との調整業務
- ・国、県、市町村、事業者、ステークホルダーとなる地域住民が共に課題に参画できる枠組みづくり
- ・各地域住民の公平な意見を聴取する
- ・様々な立場の方と意見交換の場を作っていただきたい

○地熱発電・温泉発電の事例の紹介、広報等に関して

- ・九州地方での地熱発電の成功事例の紹介
- ・個別地域における講演会やシンポジウム
- ・地熱の理解促進と補助金等の利用について、広報していただきたい
- ・温泉を利用した小規模なバイナリー発電の可能性について

○その他のご意見

- ・アセスメントを中心としたモニタリングまでを含めた指導、助言が具体的にできるよう備えてほしい
- ・温泉モニタリングに関する手法のガイドラインの作成
- ・温泉事業者のわがままで地熱発電が進まないと思っている方も多いので、そうでないことを知らせてほしい
- ・国立・国定公園の自然を守ってほしい